

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

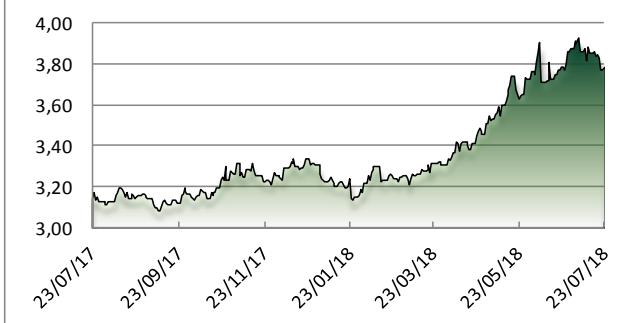
昨日のドルレアルスポット相場は、貿易摩擦を巡る懸念が新興国通貨全般の重石になっていることに加え、米金利も上昇したことから一時3.80台前半までドル高レアル安が進行。引けにかけてはレアルが買い戻され、3.78台前半で取引を終えている。トランプ大統領のイランに対する発言も、リスクセンチメントをやや悪化させている。週末22日に自身のツイッターでロウハニ大統領に対し、米国を2度と脅さぬよう警告するコメントを投稿。その数時間前、ロウハニ大統領は演説で、「米国がイランと対立することで、とてつもない戦争のリスクを冒している」と述べていた他、トランプ大統領に対して、イランの原油輸出を脅かさぬよう警告していた。ブラジル国内では引き続き大統領選に関する報道が主たる注目点。世論調査をリードしているJair Bolsonaro氏についてEstado紙は、「大統領に選出された場合、予算企画相と財務相を統合する計画がある」と報じている。Globo紙はまた、同氏が経済政策に精通していないことから、経済政策全般を経済ブレーンとして採用したPaulo Guedes氏に委ねる可能性があると指摘している。Guedes氏は中銀総裁に現職のGoldfajn氏を引き継ぎ登用する考えがある他、①低インフレ、輸出と輸入が両立し得る為替水準、借入コストの低下、増税の回避、などが経済政策の柱になる、②現在のインフレ水準は失業率の影響を受けていたため、インフレとの戦いを目的とした政策提案を行う必要がある、との見解を示していると報じられている。

マーケットデータ

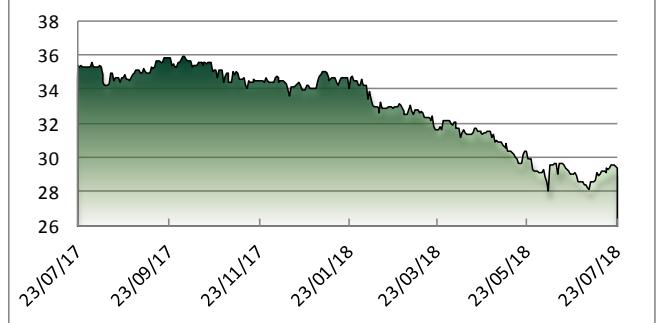
Indicator	Unit	7月20日	7月23日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,7680	3,7830	0,40%	-0,07%	3,1210
	対円	JPY	29,55	29,43	-0,41%	1,27%	35,13
	対ユーロ	BRL	4,4201	4,4241	0,09%	0,30%	3,8531
円	対ドル	JPY	111,41	111,35	-0,05%	1,25%	104,56
	対ユーロ	JPY	130,63	130,19	-0,34%	1,59%	124,62
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	78,571	77,996	-0,73%	10,41%	88,318	69,069
CDS Brazil 5yrs	bps	230,60	225,06	-2,40%	-15,10%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	11,04	11,06	0,18%	-8,64%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%	6,71	6,72	0,22%	-4,48%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%	2,3416	2,3416	0,00%	0,12%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index	192,62	192,49	-0,07%	-2,55%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。